

名張市議会 日本共産党議員団です

新年のご挨拶

いのちと暮らしを守り、希望のもてる「名張市」にむけて!!

新年あけましておめでとうございます。  
皆様には、令和5年の新春をお健やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。  
日頃は、日本共産党議員団に温かいご指導、ご鞭撻を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。  
本年も皆様のお声を力に、希望のもてる名張のまちづくりのため、全力で取り組む決意です。どうぞよろしくお願ひいたします。



三原じゅん子

すずらん台西4-202  
☎0595-68-3552

三原じゅん子 名張 (HP) <https://www.facebook.com/y.fujikawa.nabari>  
E-mail: junko.mihara@asint.jp

藤川よしひろ

富貴ヶ丘3-28  
☎090-1753-0491

E-mail: yoshi.fujikawa10@gmail.com

生活相談はいつでもどうぞ



中学校給食は直営自校方式で早期実施を

[YouTube配信・12月8日] もどうぞご覧下さい

**教育次長のA** 特に赤目中学、名張中学の用地確保が困難であると考

**藤川のQ** 自校方式の課題解決はどのよう

**教育次長のA** が、場所については不確定な部分があるため、答弁を差し控える。センターの最大規模は2000食、2500食で考えている。

**藤川のQ** センター方式の候補地はどこか。給食センターの最大規模は

**市長のA** 生徒数推計の変化を踏まえ、他の自治体の取組事例調査及びセンター方式、自校方式の課題抽出と解決方法などを中心に庁内調整を進めている。民間活力等導入可能性調査に必要な資料収集を行い、基本構想の作成を進めている。

**藤川のQ** 庁内調整はどのような方針を持って進めているのか。

「自校給食をすすめる会」から提出された自校方式での実施を求める3758筆の署名、市民の声をどのように受け止め、今後の検討に反映させる予定なのか。

**藤川のQ** 民間活力等導入可能性調査実施を決定する前に、市民の声をよく聴いて、子どもたちの教育に関わる学校給食について深く検討・検証し、実施方式を決定する必要がある。

**市長のA** 令和5年度の民間活力等導入可能性調査に見込んでおり、その後の計画については変動することが予測されるため確定していない。

**藤川のQ** 給食開始までになせ5年も掛かるのか。具体的な実施計画を問う。

の建物を一部潰して造成する必要がある。名張中学については、駐車場や消防活動用地の問題があるため、別の用地が必要であると考え検証している。

**市長のA** 自校方式での給食実施を望む一筆に込められた思いは深く受け止めているが、市民サービスの安定的な提供も重要であることから、各方式を比較検討した上で総合的に判断をしたい。PFIセンター方式が持続可能であるとは考えておらず、そのことも含めて基本構想の中で示していく。中期財政計画ローリング版で示した通り、財政的にも厳しい状況である。持続可能にしていくには、投資費用についても一定平準化が求められると考える。

**藤川主張** PFIセンター方式が持続可能だと考えていないとすると、一方でPFIを前提とした民間活力等導入可能性調査を計画し、財政が厳しいと言いつつ、1280万円もの高額な予算を計上している。市の学校給食に対する理念や方針がないまま、最初から全てを民間に委ねることは教育を守る行政の責任を放棄する行為です。

**市長のA** 自校方式での給食実施、生徒数減少への対応など様々な点で直営自校方式が優れています。(※比較表参照)

**教育長のA** 公立幼稚園は多様な子どもを受け入れる特徴がある。すべての幼稚園及び保育所、子ども園等において「幼児教育カリキュラム」や「ヒカイチ先生」に取り組み、段差のない小学校との取り次ぎを進めてきた。今まで培ってきた要素を引き継ぎ、名張市の良さとして取り組んでいきたい。

**藤川のQ** 「公立幼稚園だから安心して預けていた」といった保護者からの声も届いている。支援を必要とする子どもたちへの幼児教育、子どもたちの成長過程に合わせ多様性を持った幼児教育を公立幼稚園が担ってきたと考えている。

**藤川のQ** 認定こども園の持つ方針や理念にプラスして市が守ってきたことをしっかりと引き継いでいただきたい。尊い命が失われてしまった事故や事件、保育士による虐待といったニュースが流れる度に本當に心を痛めている。

**藤川のQ** 名張幼稚園と大屋戸保育所の統合により名張市の公立幼稚園が全て廃止になりました。

起こつてからの是正では遅い。未然に防ぐためには認定こども園だけではなく行政も家庭も地域も一体となって、子どもたちが安心できる場所として維持し、守っていく必要がある。

何より、「食教育」は義務教育の一環であり、教育に関するノウハウを持っているのは民間ではなく市の方です。

市民の声をしっかりと受け止め、子ども達の健康と成長、そして学びを守り、名張市の将来も見据えた直営自校方式での実施を強く求めました。

公立幼稚園が担ってきた役割をしっかりと引き継いでいかなければならない。公立幼稚園が担ってきた役割は何であるとお考えか。また、それを今後どのように市が関わり、守っていくのか。

名張幼稚園と大屋戸保育所の統合により名張市の公立幼稚園が全て廃止になりました。

名張幼稚園の閉園により名張市立幼稚園条例が廃止になりました。

12月議会報告

給食施設の比較

	直営自校方式	PFIセンター方式
<b>食育の推進</b>	調理場が常に側にあることで、生徒と調理員のコミュニケーションがとれ、生徒自らが五感で感じ、学ぶことができる。	給食センターの見学が可能。
<b>地域経済</b>	5校それぞれの建設であれば、市内に本店を持つ事業者が入札に参加でき、地元業者の仕事おこしになる。建設費等の事業費が名張市内で循環し、地域経済の発展に繋がる。	10億円を超える大型事業のため、市内事業者では入札できず、市外の大手事業者と契約せざるを得ない。建設費等の事業費が長期間に渡って市外に流出する。
<b>地産地消</b>	地域密着で地産地消が促進できる。手作りのため、形状にばらつきがあっても対応ができる。生徒と生産者のコミュニケーションがとれ、農業を身近に感じる事ができる。	一か所で大量につくるため、地産地消の促進は難しいといわれている。
<b>減少への対応</b>	業務用厨房器機を使用できる。小型の器機のため、柔軟に対応できる。	大型設備や施設そのものの縮小は困難であり、柔軟な対応ができない。利益を追求するため、小学校給食が統合される恐れがある。
<b>早期実施</b>	3年の期間で建設・工事、給食開始が可能。	導入可能性調査やアドバイザー業務委託等に1年～2年の期間を要するため、給食開始まで5年～7年掛かる。
<b>費用比較</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>15年間事業費合計 <b>36億7500万円</b></li> <li>※平成29年教育委員会資料「中学校給食導入方式比較表」より算出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>15年契約対価支払額：43億1千万円</li> <li>最大規模：4千食</li> <li>※伊賀市報告書より抜粋</li> <li>用地購入費用：3億円～4億円</li> <li>導入可能性調査費用、モニタリング費用、アドバイザー業務委託費等：2千万円～3千万円</li> <li>総額：<b>46億3千万円～47億4千万円</b></li> </ul>

教育民生委員会報告  
名張幼稚園の閉園により名張市立幼稚園条例が廃止になりました。  
[YouTube配信・12月14日]もどうぞご覧下さい



# 暮らしを守り希望の持てる市政にむけて 40年ぶりの水準に及ぶ物価高騰、市民生活を守れ 住民の暮らしを守り、福祉増進が地方自治体の責務です

【YouTube 配信】も  
どうぞご覧下さい

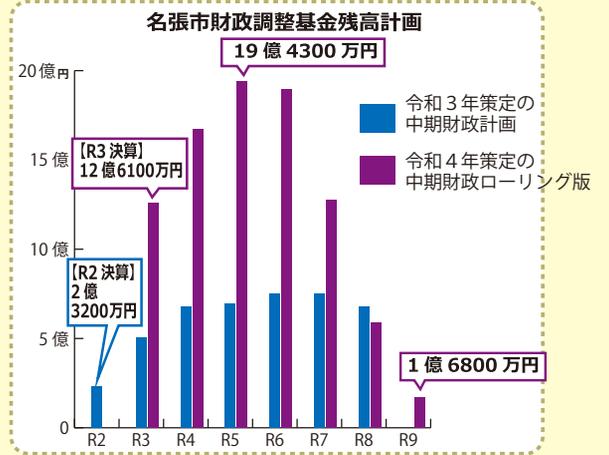
財政部長の  
**A**

「財政の健全化は果たされ  
ておらず、令

とある固定資産税の増  
税は廃止すべきです。

**三原のQ** 名張市の超過課税（固定資産税の増税）は、単年度の財源不足を補うための増税で恒久財源ではありません。実際の単年度収支は不足どころか大幅な黒字決算で財政調整基金（市の貯金）も予定より多く貯まり、超過課税の根拠はなくなりまし

**固定資産税の増税廃止を議員提案しました。**  
（YouTube 配信）  
開会日12月2日、一般質問12月8日



「中学校給食にお金がかかるから増税を続ける」という意見がありました。それならずと増税が必要になるのではないですか？

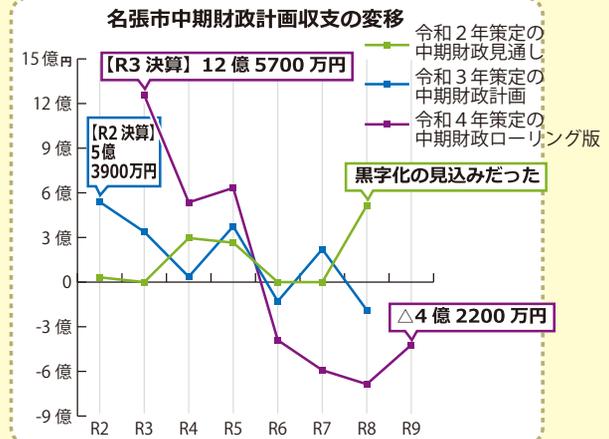
**三原の主張** その財政調整基金も使  
い果たす財政計画です。  
こんな財政計画は認め  
られません。

**市長のA** 「将来負担比率が大きい  
財政調整基金を他の自  
治体並みにし、将来負  
担を減らさなければならぬ。」

**三原のQ** 「3年延長したら黒字に  
なる」と言っていたで  
はないですか。市民（納  
税者）との約束を守ってください。

固定資産税の増税は「都市振興税」と銘打って、財政の健全化を果たすとして、3年間延長としましたが、また赤字の財政計画が財政部から出されました。

**中期財政計画ローリング版  
令和6年度からまた赤字！**  
（YouTube 配信）  
採決日12月20日



「補正予算で議論しました」  
（YouTube 配信）  
採決日12月20日

財政が厳しいと言いつつ、コ  
ンサルタントに民間活力導入可  
能性調査を委託する予算1280  
万円を計上。伊賀市ではPFI  
民間活力導入可能性調査にかか  
つた費用は321万円。

「補正予算で議論しました」  
（YouTube 配信）  
採決日12月20日

「補正予算で議論しました」  
（YouTube 配信）  
採決日12月20日

中学校給食は義務教育の一環で  
す。他の自治体では当たり前前  
にある中学校給食。給食費の無償  
化も始まっています。  
子育て世代支援、若者の定着  
人口減少を食い止める施策とし  
ても効果を発揮しています。  
**中期財政見直し・財政計画でも  
初期投資、維持費として年間2  
億円を織り込み済みです。**（令和  
4年3月議会、総務部長答弁）  
**増税なくとも中学校給食は実施  
可能です。**  
家庭でも子どもの育ちと教育は  
優先してお金を確保します。要  
はやりくりの仕方、お金の使い  
方です。

◆令和2年12月、名張商工会議  
所から「都市振興税の延長に対  
一方、名張市財政の単年度収支は国の交付金が  
見込みより多く入り、大幅な黒字。令和2年度  
決算で5億3900万円、令和3年度決算で12  
億5700万円です。実際は見込みより大幅な  
プラス修正。今すぐ減税を！」

**名張市の平均所得は  
304万円。**  
全国平均351万円より低い。  
名張市の世帯数:3万540世帯  
(人口77,368人1世帯あたり2.53人)  
持ち家:2万4545戸  
持ち家の世帯が  
多い  
【H27年10月の国勢調査より】

◆子育て世代は、家のローン、  
車のローン、子どもの教育費と  
多くの支出があります。新しい  
家ほど固定資産税の評価額は高  
く、名張市で家を建て、子育て  
をしている世帯は負担増で「名張  
は税金が高い」との声があります。

**まだ続く物価高騰  
生活の厳しさは増すばかり  
賃上げが物価に追いついていない**

相次ぐ値上げで生活に最も影響の  
大きいものは、食料品、ガス・電気、  
ガソリンなど。12月には乳児用の  
粉ミルクや砂糖、ゼリー飲料など  
が値上され、令和5年は食品や飲  
料が再値上げの予定で、2月には  
再び値上ラッシュとなる可能性。  
令和5年の家計の負担は平均して  
約13万円増加の見込み（民間リ  
サーチ）。

◆令和3年5月産業建設委員会  
での市内産業の状況は、コロナ  
禍を理由に、運輸業と宿泊・飲  
食サービス業の廃業の報告を受  
け、その後も介護施設の廃業な  
どもありました。令和4年は、  
4月に10件をはじめ、11月まで  
に9件合わせ19件が倒産・廃業。  
（商工会議所の会員事業者）それ  
以外にもあると推測。コロナ禍に  
物価高騰が追い打ちをかけ、厳  
しい状態が続いています。